

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語聴覚障害診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 火曜4限・水曜3限	教室名	4校舎401
担 当 教 員	酒井 崇	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚障害について幅広く学び、評価のための基礎的能力を養う。 検査の目的や方法について学び理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料 標準言語聴覚障害学「言語聴覚障害学概論」 標準言語聴覚障害学「言語聴覚療法 評価・診断学」						
《授業外における学習方法》						
定期的に、授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
数多くある言語聴覚障害について理解し、鑑別診断の際に求められる知識や考え方を身に付けることを目指す。 初めて聞く用語も多数出てくるので復習を日常的に行い、わからない個所は都度確認することが望まれる。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の信頼性と妥当性、検査の方法について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	信頼性を調べる検査、妥当性を調べる検査について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	初診時の注意点、言語聴覚士の基本的な業務について理解する 正常と異常とを理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士法で挙げられる業務について学ぶ 正常・異常とは何かを学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の行う検査について幅広く理解する①	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	言語検査、知能検査、失行・失認検査を学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の行う検査について幅広く理解する②	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	構音検査、音声検査、嚥下検査、小児の検査を学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションについて(スピーチチェーン)	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	失語症のタイプ分類について大まかに知る。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スクリーニング検査について	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	スクリーニング検査の重要性、ポイントについて学ぶ		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	注意機能検査について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	注意機能検査を学び実践する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語検査について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	言語の鑑別診断検査、掘り下げ検査について学び実践する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査から導き出される問題点を考える	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	検査後に導き出される問題点の抽出の方法を学び実践する		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳検査について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	視覚・遂行機能について学び実践する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	自覚的検査・他覚的検査を知る	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	自覚的・他覚的、主観・客観とは何かを考え学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	測定、政倫物氏測定法について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	測定とは何か、測定法を学び実践する 測定法(極限法、恒常法、調整法)、尺度構成法について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査を実施する上での声掛け、問いかけについて理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	クローズドクエッションとオープンクエッションの違いについて学ぶ		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	症例報告会に参加する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	症例報告を聴講し、実習に関連した報告に触れる。
		各コマにおける授業予定	3年生の症例報告会を聴講する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚閾値について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	聴覚分野における感覚閾値について学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察法とカルテについて理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	観察法の違いについて学ぶ カルテの読み取り方、記載法について学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知情報処理について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	ボトムアップ、トップダウンの考え方を理解する。 認知神経心理ピラミッドを学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	測定の性質について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	尺度の考え方を学ぶ		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	尺度を用いた検査を実践し理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	尺度を用いた検査(RCPMやKohs)を行う		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児スクリーニングについて理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	スクリーニング検査のうち、小児に行うものの意義と方法を学ぶ		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者ごとに問題点をICFで考える	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	ICFの歴史と分類法について学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語障害について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	発声発語の評価方法について学び実践する		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	知的障害の評価方法について学び実践する		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	自閉症・学習障害を理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	自閉症・学習障害の定義を学ぶ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の構音障害について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	小児の構音障害の原因を学ぶ 評価方法を学び実践する		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	得意的言語発達障害領域、小児麻痺について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	発達障害、小児まひの種類について学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	聴覚障害について学び、検査方法を知り実践する		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害(小児分野)について理解する	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	聴覚障害(小児分野)について学び、その意義を知る		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害について理解する①	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の情報収集について学び考える		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害について理解する②	PC、プロジェクター、テキスト、配布資料	教科書、配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の評価方法と検査方法について学び実践する		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			